

開 講 学 科	建築学専攻	実務家科目	前橋工科大学 シラバス			
		—				
科 目 名	インターンシップD	標準対象年次	選択／必修		科目コード	
		1, 2 年次	選択		33003201	
担当教員	大学院担当全教員	単位数	学 期	曜 日	単位数	
		2 単位	後期		2 単位	
授業の教育 目的・目標	大学院修了後、実務的に即戦力になる実践的な能力を身につけるため企業の設計、施工、積算、研究部門などに学生を約2週間派遣し、建築の企画から竣工するまでの仕事のプロセスを建築士の指導を受け、学習させる。成果として、それぞれの専門職の内容を把握するとともに、職能としての技術者倫理や社会人としての自覚を身につける。インターンシップDでは、実習先の規模や意匠・構造・設備などの分野は問わず、インターンシップ A～C やインターンシップ関連科目を通して身につけた知識や経験を活かして、更に実務に携わることにより、実務設計に必要な発展的な能力を養うことを目標とする。					
学科の学修・教育 目標との関係	実践的な教育の一環として、インターンシップに関連する科目と相補的な科目として位置づけている。大学院で学ぶ内容をより、実務に即した具体的かつ実践的な教育である。					
キーワード	仕事のプロセス・コミュニケーション能力・実践的・具体的・技術者倫理					
授業の概要	実習時間は90時間で約2週間の長期実習となるため、実習先と相談の上、冬季・春季休暇期間あるいは後期の余暇時間をあてる。					
授業の計画	<div>①自己紹介書の作成（各指導教員） 志望先企業の理解を得るため、自己紹介書を作成する。出来るだけ具体的な内容とする。</div> <div>②計画書作成（各指導教員） 学生は事前に計画書を担当教員に提出し、志望先の企業や実習期間中の学習目標を明確に示す。</div> <div>③～⑪実習先での実習</div> <div>⑫インターンシップ修了書の発行 受け入れ企業担当者に大学側で用意した所定の書式に評価を記入してもらい、担当教員に提出する。</div> <div>⑬自己申告書および報告書の作成（各指導教員） 学生は達成目標と到達度について実務成果を記入し、担当教員に提出する。</div> <div>⑭ヒヤリング（各指導教員） 担当教員は提出書類をチェックし、学生とヒヤリングを行い、情報を正確に把握する。</div> <div>⑮成績評価について（各指導教員） 担当教員は上記の書類を元に総合的に判断し、評価を行う。</div>					
受講条件・ 関連科目	一級建築士受験要件における実務認定の絶対条件となっているため、建築全般の知識が前提となっている。 関連科目：インターンシップA, インターンシップB, インターンシップC					
授業方法	実習先企業の方針による。					
テキスト・参考書	実習先企業の指針による。					
成績評価	・ 期末試験（     %）   ・ レポート（100%）・ 小テスト（     %） ・ その他（                    ）（     %）					
履修上の注意	建築技術実務者としての準備段階として位置づけているので、社会人として身につけるべきモラルやコミュニケーション、業務に対応した注意事項などの作業日誌を作成する必要がある。					

